

平成30年度 上半期  
四国中央市工業用水道事業  
業務状況説明書

平成30年 4月 1日から

平成30年 9月30日まで

四国中央市水道局

## 目 次

### 平成30年度上半期（平成30年4月1日～平成30年9月30日）の 業務の状況

1	事業の概況 .....	1
2	経理の状況 .....	1
	予算の執行状況 .....	1
	(1)収益的収入及び支出 .....	1
	(2)資本的収入及び支出 .....	1

### 前年度の決算の状況

3	平成29年度四国中央市工業用水道事業会計決算の状況 ...	2
	(1)概要 .....	2
	(2)決算報告書 .....	4
	(3)損益計算書 .....	8
	(4)剰余金計算書 .....	9
	(5)貸借対照表 .....	10
	(6)決算に関する注記 .....	12

1 事業の概況（平成 30 年 9 月 30 日現在）

	給水事業所数	上半期総責任給水量	一日平均責任給水量
新宮工業用水道	34 工場	47,406,150 m <sup>3</sup>	259,050 m <sup>3</sup>
柳瀬工業用水道	20 工場	38,356,800 m <sup>3</sup>	209,600 m <sup>3</sup>
富郷工業用水道	27 工場	19,145,460 m <sup>3</sup>	104,620 m <sup>3</sup>

2 経理の状況

予算の執行状況

(1)収益的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	上半期執行額 (B) 円	執行率 (B/A)%
新宮工業用水道事業収益	1,298,400,000	638,990,416	49.2
営業収益	1,270,633,000	638,332,308	50.2
うち給水収益	1,266,257,000	638,332,308	50.4
営業外収益	27,757,000	658,108	2.4
特別利益	10,000	0	0.0
柳瀬工業用水道事業収益	202,600,000	102,069,877	50.4
営業収益	198,443,000	99,964,062	50.4
うち給水収益	198,298,000	99,964,062	50.4
営業外収益	4,147,000	2,105,815	50.8
特別利益	10,000	0	0.0
富郷工業用水道事業収益	2,198,400,000	1,041,580,673	47.4
営業収益	2,076,597,000	1,039,588,020	50.1
うち給水収益	2,063,045,000	1,039,588,020	50.4
営業外収益	121,793,000	1,992,653	1.6
特別利益	10,000	0	0.0
収入合計	3,699,400,000	1,782,640,966	48.2
新宮工業用水道事業費用	751,400,000	240,667,999	32.0
営業費用	683,214,000	240,318,493	35.2
営業外費用	66,306,000	349,506	0.5
特別損失	10,000	0	0.0
予備費	1,870,000	0	0.0
柳瀬工業用水道事業費用	137,190,000	36,183,802	26.4
営業費用	118,251,000	32,297,040	27.3
営業外費用	17,069,000	3,886,762	22.8
特別損失	10,000	0	0.0
予備費	1,860,000	0	0.0
富郷工業用水道事業費用	1,845,500,000	373,682,704	20.2
営業費用	1,488,368,000	251,845,522	16.9
営業外費用	355,271,000	121,837,182	34.3
特別損失	10,000	0	0.0
予備費	1,851,000	0	0.0
支出合計	2,734,090,000	650,534,505	23.8

(2)資本的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	上半期執行額 (B) 円	執行率 (B/A)%
負担金	8,710,000	0	0.0
収入合計	8,710,000	0	0.0
新宮工業用水道事業建設改良費	40,929,000	5,678,640	13.9
柳瀬工業用水道事業建設改良費	15,000,000	0	0.0
富郷工業用水道事業建設改良費	33,750,000	28,509,840	84.5
企業債償還金	961,978,000	482,724,837	50.2
予備費	2,043,000	0	0.0
支出合計	1,053,700,000	516,913,317	49.1

### 3 平成 29 年度四国中央市水道事業会計決算の状況

#### (1)概要

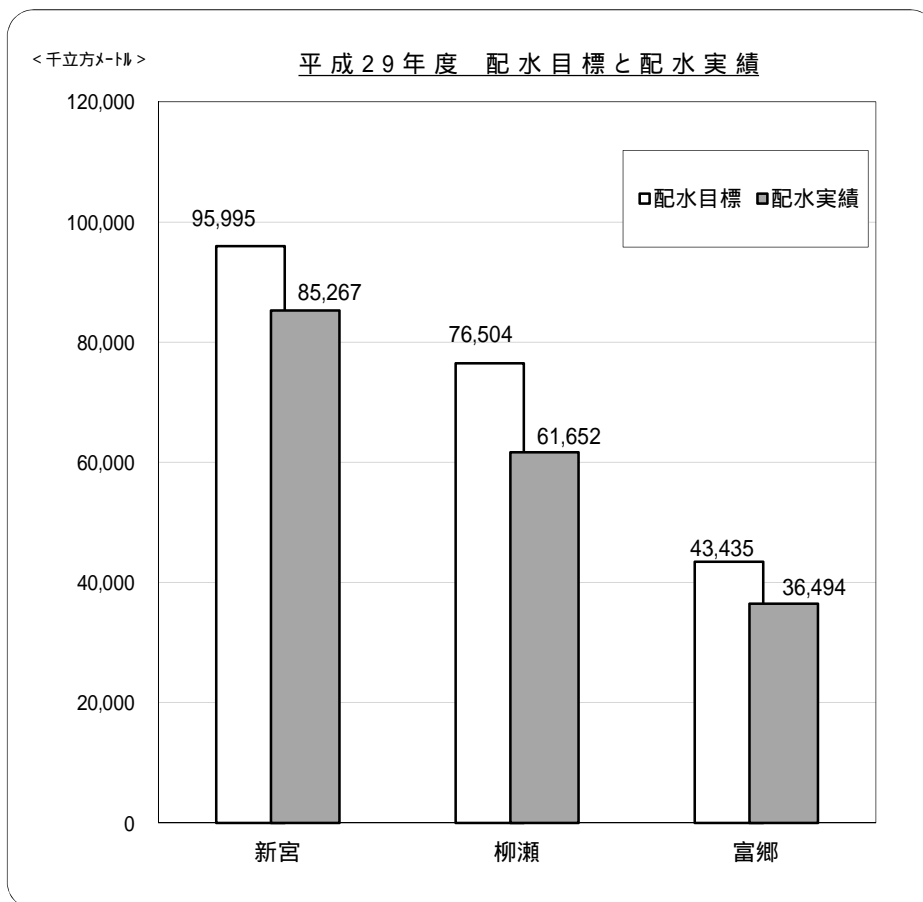
##### ア 業務関係

本年度は、4月から8月迄の間と2月から3月迄の間で合わせて150日間の節水を余儀なくされました。また、1日当たり給水能力591,600 m<sup>3</sup>に対する年度末契約給水量は573,320 m<sup>3</sup>で契約率は96.91%となっています。

新宮工業用水道については、年度末における給水事業所数は前年から1工場減の34工場です。年間配水量は85,267千m<sup>3</sup>となりました。年度末における契約率は98.50%となっています。

柳瀬工業用水道については、年度末給水事業所数は前年と同様の20工場です。年間配水量は61,652千m<sup>3</sup>となりました。年度末における契約率は100%となっています。

富郷工業用水道については、年度末給水事業所数は前年と同様の28工場です。年間配水量は36,494千m<sup>3</sup>となりました。年度末における契約率は、87.96%となっています。



## イ 工事関係

主な改良工事として、柳瀬配水管理事務所無停電電源装置更新工事 24 百万円、富郷工業用水道遠方監視制御設備改良工事 10 百万円を実施しました。

## ウ 経理関係

### (ア) 収益的収支関係

本年度は、前年度に比べ収入において基幹産業補助金の終了に伴い 202 百万円の減少、支出において支払利息やダム負担金の減少に伴い 57 百万円の減少、純利益は 145 百万円減少しましたが、1,059 百万円を計上することができました。今後も安定した経営基盤を継続しながら、施設の投資計画に基づき老朽化対策や耐震化対策を進め安定供給を目指したいと考えております。

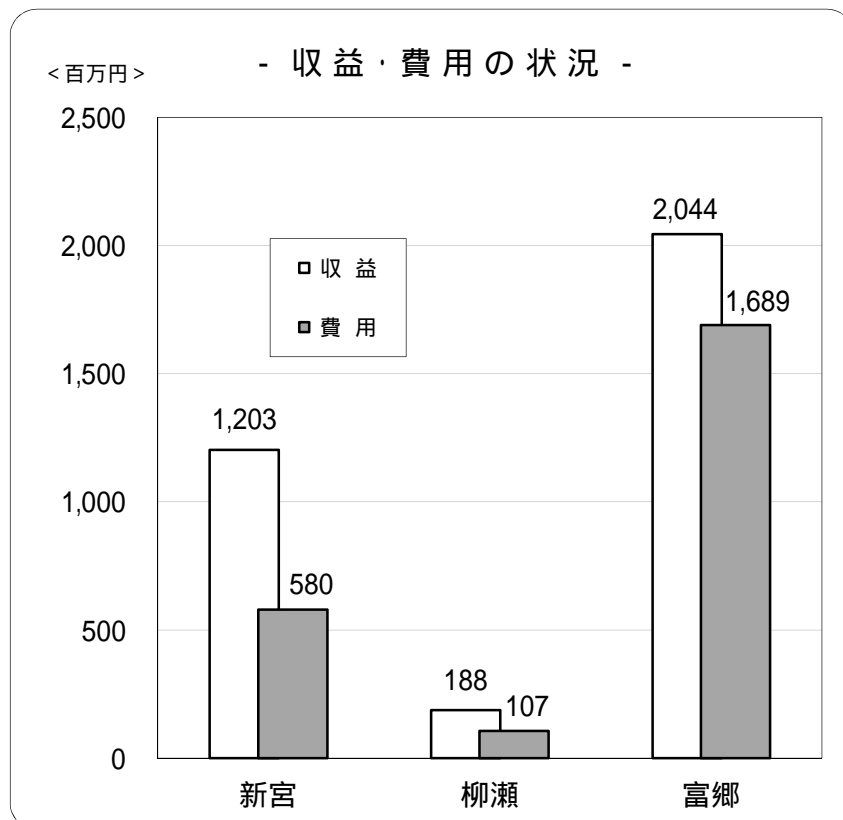
新宮工業用水道では、収入 1,203 百万円に対して支出は 580 百万円で、収支差引 623 百万円の純利益となっております。

柳瀬工業用水道は、収入 188 百万円に対して支出は 107 百万円で、収支差引 81 百万円の純利益となりました。

富郷工業用水道は、収入 2,044 百万円に対し支出が 1,689 百万円で、収支差引 355 百万円の純利益となりました。

### (イ) 資本的収支関係

本年度の収入額は無く、支出額は 1,254 百万円で差引収入不足額 1,254 百万円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、建設改良積立金、当年度損益勘定留保資金及び当年度利益剰余金処分額で補てんしています。



## (2)決算報告書

## 平成29年度四国中央市工業用水道

## (1) 収益的収入及び支出

## 収入

区 分	予 算		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支出額 に係る財源充当額
	円	円	円
第1款 新宮工業用水道事業収益	1,302,800,000	0	0
第1項 営 業 収 益	1,275,883,000	0	0
第2項 営 業 外 収 益	26,907,000	0	0
第3項 特 別 利 益	10,000	0	0
第2款 柳瀬工業用水道事業収益	202,600,000	0	0
第1項 営 業 収 益	198,443,000	0	0
第2項 営 業 外 収 益	4,147,000	0	0
第3項 特 別 利 益	10,000	0	0
第3款 富郷工業用水道事業収益	2,194,800,000	0	0
第1項 営 業 収 益	2,073,011,000	0	0
第2項 営 業 外 収 益	121,779,000	0	0
第3項 特 別 利 益	10,000	0	0
合 計	3,700,200,000	0	0

## 支 出

区 分	予 算				
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営 企業法第 24条第3 項の規定 による 支 出 額
	円	円	円	円	円
第1款 新宮工業用水道事業費用	732,500,000	8,058,000	0	0	0
第1項 営 業 費 用	660,837,000	8,061,000	0	616,988	0
第2項 営 業 外 費 用	69,811,000	3,000	0	616,988	0
第3項 特 別 損 失	10,000	0	0	0	0
第4項 予 備 費	1,842,000	0	0	0	0
第2款 柳瀬工業用水道事業費用	137,300,000	601,000	0	0	0
第1項 営 業 費 用	118,046,000	601,000	0	381,018	0
第2項 営 業 外 費 用	17,428,000	0	0	381,018	0
第3項 特 別 損 失	10,000	0	0	0	0
第4項 予 備 費	1,816,000	0	0	0	0
第3款 富郷工業用水道事業費用	1,876,400,000	412,000	0	0	0
第1項 営 業 費 用	1,492,382,000	412,000	0	2,255,977	0
第2項 営 業 外 費 用	382,056,000	0	0	2,255,977	0
第3項 特 別 損 失	10,000	0	0	0	0
第4項 予 備 費	1,952,000	0	0	0	0
合 計	2,746,200,000	7,045,000	0	0	0

# 事業会計決算報告書

額		決 算 額	予 算 額 に 比 率 決 算 の 増 減	備 考
合 計				
	円	円	円	
1,302,800,000		1,297,666,965	5,133,035	仮受消費税及び地方消費税額 94,537,121円
1,275,883,000		1,272,063,441	3,819,559	仮受消費税及び地方消費税額 94,226,921円
26,907,000		25,603,524	1,303,476	仮受消費税及び地方消費税額 310,200円
10,000		0	10,000	
202,600,000		202,452,406	147,594	仮受消費税及び地方消費税額 14,893,996円
198,443,000		198,303,525	139,475	仮受消費税及び地方消費税額 14,689,150円
4,147,000		4,148,881	1,881	仮受消費税及び地方消費税額 204,846円
10,000		0	10,000	
2,194,800,000		2,198,144,420	3,344,420	仮受消費税及び地方消費税額 153,815,302円
2,073,011,000		2,076,269,303	3,258,303	仮受消費税及び地方消費税額 153,797,726円
121,779,000		121,875,117	96,117	仮受消費税及び地方消費税額 17,576円
10,000		0	10,000	
3,700,200,000		3,698,263,791	1,936,209	仮受消費税及び地方消費税額 263,246,419円

額		合 計	決 算 額	地方公営 企業法第 26条第2 項の規定 による 繰越額	不 用 額	備 考
小 計						
	円	円	円	円	円	
724,442,000	0	724,442,000	674,218,616	0	50,223,384	仮払消費税及び地方消費税 24,468,050円
652,159,012	0	652,159,012	603,787,628	0	48,371,384	仮払消費税及び地方消費税 24,468,050円
70,430,988	0	70,430,988	70,430,988	0	0	
10,000	0	10,000	0	0	10,000	
1,842,000	0	1,842,000	0	0	1,842,000	
137,901,000	0	137,901,000	119,828,145	0	18,072,855	仮払消費税及び地方消費税 4,171,362円
118,265,982	0	118,265,982	102,019,127	0	16,246,855	仮払消費税及び地方消費税 4,171,362円
17,809,018	0	17,809,018	17,809,018	0	0	
10,000	0	10,000	0	0	10,000	
1,816,000	0	1,816,000	0	0	1,816,000	
1,876,812,000	0	1,876,812,000	1,842,107,860	0	34,704,140	仮払消費税及び地方消費税 33,423,873円
1,490,538,023	0	1,490,538,023	1,457,795,883	0	32,742,140	仮払消費税及び地方消費税 33,423,873円
384,311,977	0	384,311,977	384,311,977	0	0	
10,000	0	10,000	0	0	10,000	
1,952,000	0	1,952,000	0	0	1,952,000	
2,739,155,000	0	2,739,155,000	2,636,154,621	0	103,000,379	仮払消費税及び地方消費税 62,063,285円

(2) 資本的収入及び支出

収 入

該当なし

支 出

区 分	予			算		
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小 計	地方公営 企業法の 26条によ る繰越額	営第規 第の額 繰越額
	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的支出	1,265,000,000	0	0	1,265,000,000	0	0
第1項 新宮工業用水道 事業建設改良費	11,880,000	0	0	11,880,000	0	0
第2項 柳瀬工業用水道 事業建設改良費	27,500,000	0	0	27,500,000	0	0
第3項 富郷工業用水道 事業建設改良費	12,000,000	0	0	12,000,000	0	0
第4項 企業債償還金	1,211,799,000	0	0	1,211,799,000	0	0
第5項 予備費	1,821,000	0	0	1,821,000	0	0

決算額のうち、資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,253,915,323円は、当年度消費税及び地方消費税留保資金846,090,958円及び当年度利益剰余金処分額293,802,539円で補てんした。



額	決算額	翌年度繰越額			不用額	備考
		地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額	継続費 繰越額	通次 繰越額		
円	円	円	円	円	円	
1,265,000,000	1,253,915,323	0	0	0	11,084,677	仮払消費税及び地方消費税 3,120,017円
11,880,000	7,384,040	0	0	0	4,495,960	仮払消費税及び地方消費税 546,966円
27,500,000	24,379,000	0	0	0	3,121,000	仮払消費税及び地方消費税 1,805,851円
12,000,000	10,357,200	0	0	0	1,642,800	仮払消費税及び地方消費税 767,200円
1,211,799,000	1,211,795,083	0	0	0	3,917	
1,821,000	0	0	0	0	1,821,000	

資本的収支調整額3,120,017円、減債積立金91,966,312円、建設改良積立金18,935,497円、当年度分損益勘定

(3)損益計算書

平成29年度四国中央市工業用水道事業会計損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 給水収益	3,266,382,899		
(2) 受託管理収益	17,539,573	3,283,922,472	
2 営業費用			
(1) 原水費	739,267,269		
(2) 配水及び給水費	170,641,703		
(3) 総係費	41,723,728		
(4) 減価償却費	1,149,045,742		
(5) 資産減耗費	860,911	2,101,539,353	
営業利益			1,182,383,119
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	375,150		
(2) 受託管理収益	2,977,778		
(3) 長期前受金戻入	143,899,833		
(4) 雑収益	3,842,139	151,094,900	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	274,500,669		
(2) 雑支出	14	274,500,683	123,405,783
経常利益			1,058,977,336
当年度純利益			1,058,977,336
その他未処分利益剰余金変動額			707,940,694
当年度未処分利益剰余金			1,766,918,030

#### (4)剰余金計算書

### 平成29年度四国中央市工業用水道事業剰余金計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

	資本金	剰余金						資本合計
		資本剰余金		利益剰余金				
		その他 資本剰余金	資本剰余 金合計	減債 積立金	建設改良 積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余 金合計	
前年度末残高	10,837,018,152	138,881,137	138,881,137	0	0	2,208,260,157	2,208,260,157	13,184,159,446
前年度処分額	1,003,879,532	0	0	844,716,012	359,664,613	2,208,260,157	1,003,879,532	0
議会の議決による処分額	1,003,879,532	0	0	844,716,012	359,664,613	2,208,260,157	1,003,879,532	0
減債積立金の積立て	0	0	0	844,716,012	0	844,716,012	0	0
建設改良積立金の積立て	0	0	0	0	359,664,613	359,664,613	0	0
自己資本金への組入れ	1,003,879,532	0	0	0	0	1,003,879,532	1,003,879,532	0
処分後残高	11,840,897,684	138,881,137	138,881,137	844,716,012	359,664,613	(繰越利益剰余金) 0	1,204,380,625	13,184,159,446
当年度変動額	0	0	0	689,005,197	18,935,497	1,766,918,030	1,058,977,336	1,058,977,336
減債積立金の取崩	0	0	0	689,005,197	0	689,005,197	0	0
建設改良積立金の取崩	0	0	0	0	18,935,497	18,935,497	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0	1,058,977,336	1,058,977,336	1,058,977,336
当年度末残高	11,840,897,684	138,881,137	138,881,137	155,710,815	340,729,116	当年度未処分利益剰余金 1,766,918,030	2,263,357,961	14,243,136,782

### 平成29年度四国中央市工業用水道事業剰余金処分計算書(案)

(単位:円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	11,840,897,684	138,881,137	496,439,931	1,766,918,030
議会の議決による処分額	707,940,694	0	1,058,977,336	1,766,918,030
減債積立金の積立て	0	0	421,075,953	421,075,953
建設改良積立金の積立て	0	0	637,901,383	637,901,383
自己資本金への組入れ	707,940,694	0	0	707,940,694
条例による処分額	0	0	0	0
処分後残高	12,548,838,378	138,881,137	1,555,417,267	(繰越利益剰余金) 0

## (5)貸借対照表

## 平成29年度四国中央市工業用水道事業会計貸借対照表

(平成30年3月31日)

		資 産 の 部			
		円	円	円	円
1	固定資産				
(1)	有形固定資産				
イ	土地		385,370,696		
ロ	建物	395,937,811			
	減価償却累計額	155,304,849	240,632,962		
ハ	構築物	11,523,697,922			
	減価償却累計額	6,052,927,021	5,470,770,901		
ニ	機械及び装置	1,991,287,125			
	減価償却累計額	1,737,223,711	254,063,414		
ホ	車両運搬具	7,689,522			
	減価償却累計額	6,312,084	1,377,438		
ヘ	工具器具及び備品	84,933,575			
	減価償却累計額	80,335,160	4,598,415		
	有形固定資産合計			6,356,813,826	
(2)	無形固定資産				
イ	早明浦ダム使用权		269,074,964		
ロ	新宮ダム使用权		880,807,474		
ハ	富郷ダム使用权		30,903,263,567		
ニ	施設利用権		50,300		
	無形固定資産合計			32,053,196,305	
	固定資産合計				38,410,010,131
2	流動資産				
(1)	現金預金		1,673,243,602		
(2)	未収金		0		
(3)	貯蔵品		766,810		
(4)	前払金		0		
(5)	その他流動資産		4,000,000		
	流動資産合計			1,678,010,412	
	資産合計				40,088,020,543

	負債の部		資本の部	
	円	円	円	円
3 固定負債				
(1) 企業債		19,610,496,350		
(2) 引当金				
イ 特別修繕引当金		<u>126,717,712</u>	<u>126,717,712</u>	
固定負債合計				19,737,214,062
4 流動負債				
(1) 企業債		961,974,164		
(2) 未払金		117,930,271		
(3) 引当金				
イ 賞与引当金		<u>8,439,000</u>	<u>8,439,000</u>	
(4) その他流動負債			<u>4,000,000</u>	
流動負債合計				1,092,343,435
5 繰延収益				
長期前受金		8,749,039,914		
長期前受金収益化累計額			<u>3,733,713,650</u>	
繰延収益合計				<u>5,015,326,264</u>
負債合計				<u>25,844,883,761</u>
6 資本金				
(1) 資本金		<u>11,840,897,684</u>		
資本金合計				11,840,897,684
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
イ その他資本剰余金		<u>138,881,137</u>		
資本剰余金合計			138,881,137	
(2) 利益剰余金				
イ 減債積立金		155,710,815		
ロ 建設改良積立金		340,729,116		
ハ 当年度未処分利益剰余金		<u>1,766,918,030</u>		
利益剰余金合計			<u>2,263,357,961</u>	
剰余金合計				<u>2,402,239,098</u>
資本合計				<u>14,243,136,782</u>
負債資本合計				<u>40,088,020,543</u>

## (6)決算に関する注記

### 1 重要な会計方針に関する注記

#### (1) たな卸資産の評価方法

イ たな卸資産の評価方法は、先入先出法を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産の償却方法は、定額法を採用している。

ロ 無形固定資産の償却方法は、定額法を採用している。

#### (3) 引当金の計上方法

##### イ 退職給付引当金

本市では退職手当組合に加入しており、工業用水道事業会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、追加的負担は全額一般会計において措置するため、工業用水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

##### ロ 賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当及び共済組合負担金の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

#### (4) 消費税及び地方消費税の会計処理

イ 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

### 2 その他の注記

#### (1) 特別修繕引当金に関する経過措置

平成 26 年 3 月 31 日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。